

原田小学校

地域を愛する児童の育成を目指して

原田小学校のコミュニティ・スクールでは、「地域を愛する児童の育成」を目指して、宇美南中学校とともに、学校と家庭・地域による連携・協働の活動を推進しています。

<見守りの輪>

交通事故や不審者から子ども達を守るため、地域のCSボランティアの方が登校時・下校時に通学路に立ち、安全指導をしてくださっています。登下校時だけでなく、持久走大会等の学校行事の際にも、温かく応援しながら子ども達の頑張りを優しく見守ってくださっています。



[登校中の見守りの様子]

<学びの輪>



[中学生と学ぶ様子]

原田小学校の子ども達は、CSボランティアの方々はもちろんのこと宇美南中学校の生徒さん方にも学習支援をしていただいています。CSボランティアの方々には、1年生の生活科では昔遊びやリース作りを教えていただいています。2・3年生は校区探検で案内をしていただき、5年生は総合的な学習の時間でもち米作りを指導していただいています。



[5年生の田植えの様子]

宇美南中学校の生徒さん方には、夏休みのサマースクールで、ミニ先生として活躍してもらいました。原田小の子ども達は、地域の方々や身近なお兄さんお姉さんと関わることを毎回楽しみにしています。

<あいさつの輪>

原田小学校では、原田小運営委員会児童と宇美南中生徒会役員が中心となって、毎月第一水曜日に「小中合同あいさつ運動」を行っています。この「小中合同あいさつ運動」の日には、小学1年生から6年生までの各学級の児童も交代して参加しており、いつもに増して元気で、爽やかなあいさつが校区に響いています。



[小中合同のあいさつ運動]

編集後記

宇美町のコミュニティ・スクールが始まって、5年目となりました。各小中学校でのコミュニティ・スクールの活動が定着し、それぞれに成果を上げてきています。

コミュニティ・スクール通信「3つの輪」も本号で第13号となりました。今後も、各学校でのコミュニティ・スクールの取り組みをたくさんの方に知っていただけるよう、努めていきたいと思ひます。

宇美町教育委員会学校教育課
宇美町宇美5丁目1番1号
電話 934-2245
FAX 933-9211
E-mail: gakkou@town.umi.lg.jp

3つの輪

平成28年12月
第13号
宇美町教育委員会

宇美町でのCSの取組をご紹介します!



CS通信「3つの輪」では、宇美町内の小中学校でのCSの取組を紹介しています。各学校で、学校と家庭・地域が連携・協働しながら特徴的な取組を行っています。ぜひ、ご覧ください。宇美小学校からは、「学習応援隊での学力向上」の取組です。

宇美小学校

学習応援隊で学力向上を

宇美小学校CSでは、「心・安心応援隊」、「学習応援隊」、「環境応援隊」を組織し、登下校の見守り活動、授業での学習支援、ピオトープの整備などを行っています。

今回は、「学習応援隊」の活動を紹介します。

【学習応援隊】では、保護者・地域の方々21名で、3・4年生(国語・算数)の学習支援(丸付け)を行っています。年間11回、木曜日の5時間目をプリントによる復習の時間に設定し、丸付けをお願いしています。

子ども達は、保護者や地域の方々に丸付けをもらい、ほめてもらったり、アドバイスをいただいたりすることで、意欲的に取り組むことができます。



[もくもくチャレンジでの丸付けの様子]



[保護者・地域の方々からの感想]

【丸付けに参加いただいた方の感想】

- みんな集中して問題を解いている姿勢が素晴らしかったです。
- 何度間違っても挑戦する姿勢を見せてくれて安心しました。
- 皆のやる気と元気が感じられてよかったです。
- 算数は、苦手な子も得意な子も頑張っていました。全部丸になったら、100点を書いてあげて、ほめてあげたいです。

年間11回の学習ですが、子ども達はこの時間をとても楽しみにしています。保護者や地域の方々には、日頃の学習の様子を見ていただけるという機会にもなっています。

宇美東中学校

校区きれいにし隊で宇美町を愛する心を

本校の学校教育目標に「宇美町を愛する心」を醸成し、将来における地域づくりの担い手を育てていく」とあります。この目標を目指し、宇美町が推進しているコミュニティ・スクールの取り組みの1つとして、地域主催の「ラブ・アース活動」を小学校と連携して行い、学校と地域（保護者・地域住民等）が一体となって取り組みを進めています。また、この活動に参加していただく方々を「校区きれいにし隊」と銘打ち進めるなど、この活動が学校と家庭・地域とで、連携・協働して進められるようにしています。



【区長さんの話を聞いている様子】



【小学生と協力して活動している様子】



【地域の方と協力して活動している様子】

活動のねらいは、地域のために貢献されている役員の方や保護者と小中学生が一緒に清掃活動を行うことで、参加した中学生が、地域社会と自己の関わりについて気づき、自己の立場や役割について考え、多様な集団における望ましい人間関係を築くことができる資質や能力を育成することです。

取り組みの概要としては、まず事前の準備として、各地域の部友長と副部友長（生徒）が、区長さんのところに向かい、「校区きれいにし隊」で①どこを掃除するかについて②小学生とのグループの分け方について③学校で必要な道具や個人で準備する物についての確認等を行いました。

当日は、各清掃場所ごとに部友長の司会進行のもと開始式で、区長さんからのご挨拶をいただいた後、作業を開始しました。

今後も、学校や地域社会で社会性を発揮する生徒を育むCSの活動を、学校と家庭・地域の方々と考えながら、取り組んでいきたいと考えています。

【中学生の感想から】

○この活動に参加してみて、普段からボランティアに参加したり、あいさつしたりして、地域の人と関わるようにしていくことが大切だと気づきました。
○自分の住んでいる地域をきれいにすることにより、普段からお世話になっている地域の方の気持ちが分かることができました。

【保護者・地域の方の感想から】

○小学生や中学生が地域の人と地域清掃をしていく中で、人とのつながりが深まっていったらと思いました。今日は地域もきれいになり、すがすがしい気持ちになりました。

宇美中学校

井野・宇美小学校での「赤ペン先生」の取組

6月11日(土)に、宇美中学校では3年生生徒全員による「赤ペン先生」の取り組みを実施しました。この取り組みは、井野小学校11クラスと宇美小学校21クラス（合計32クラス）の小学1～6年生を対象に、宇美中学校の生徒たちが小学生の算数プリントの丸つけを行ったり、解き方を教えてあげたりするものです。

井野小学校で「赤ペン先生」として活動した生徒は、井野小学校出身の生徒と井野小学校校区に隣接する辻荒木区の生徒たち65名です。また、宇美小学校で「赤ペン先生」として活動した生徒は、残りの宇美小学校出身の102名の生徒たちです。

授業開始直後は、小学生も中学生もややぎこちない様子でしたが、時間が経つにつれ中学生の教え方がスムーズになり、和気あいあいとした雰囲気で丸付けや学習指導がなされていました。



【中学生が丸付けをする様子】



【小学生に教えている様子】



【活動後にお礼を言っている様子】

【中学生の感想から】

- ・小学生に教えると自然に言葉が優しくなっていたので、「友人にもしなげな」と思いました。
- ・笑顔で優しくハッキリと伝わりやすく接することやあいさつをしっかりすることに気を付けて取り組みました。
- ・地域行事には、積極的に参加したいなと思いました。人と話すときは、笑顔で話ができるようになりたいです。
- ・笑顔で話したら、笑顔になってくれました。分からないところを教えたら、井野小の先生から上手だねとほめられました。
- ・これからも時間があれば、地域のためにできることをしていきたいです。
- ・年下の人と接する場合は、自分から話しかけた方がいいと思いました。教えるのは難しかったけど、丁寧に接することで伝えることができよかったです。



【井野小の児童からのお礼の手紙】

活動後の生徒たちの感想を見ると、「地域のため」という感想が多く見られました。このことからこの取り組みが「ふるさと宇美を愛し」という本校の教育目標達成に、大きな効果があったと感じています。

また活動を通して、笑顔で接することの大切さを知ったことや自然に言葉や態度が優しくなったという感想が多く見られ、いじめを生まない集団づくりや生徒の自己有用感の向上にも役立ったと考えています。